

月刊食糧ジャーナル

28~33

特集 《連載第283回》

コシヒカリを超えるコメ
販売店増により需要拡大。生産量増加へ
『いちほまれ』ブランド化の方向性

34~39

シリーズ／新体制整える卸各社の新戦略

- ① 神明HD／稲作農業法人向けファンドによる農業生産法人への投資を開始
- ② 幸南食糧／もみ殻の紙スリーブを使用した「お茶碗がいらぬおかゆ」シリーズ
- ③ ミツハシ／スポーツ選手向けに『アスリートライスプラスおにぎり』発売

60~67

山本製作所／新製品発売

新型タテ形精米機NXシリーズ2機種
ユーザーの要望を形にした新型精米機

74~75

サタケニュース／

- ① 「米分析サービス」のサイトが8月16日より全面的に刷新へ
- ② 「ファベックス関西2022」(9月7日~9日)に出展

26~27

■今月の視点／概算金、資材高・需給踏まえ3年ぶり上げ
焦点は消費への影響。問われる販売戦略

カ ラ ー 特 集

14~15

岩手米 4年産いわて純情米の販促キーワードは「岩手の本気を食べてみて」

16~17

秋田米 第35代ミスあきたこまちが9月1日から販促キャンペーン始動

18~19

福島米 JA会津よつばが新米の初検査・初出荷。「極上の会津米」栽培開始

20~21

栃木米 こども食堂に県産米提供。県内16ヶ所に合計約6ト

CONTENTS

ワイド構成／産米特集

- 40～43 **山形** 「雪若丸」おにぎり好評!銘柄全体の販売拡大も加速
コンビニ・ローソン「日本おこめぐり」企画の第2弾
- 44～49 **北海道** 3年産は「増量」で米消費拡大。4年産は米価回復に取り組む
令和4年産北海道米の販売方針を発表
- 50～51 **千葉** 「いちばん米!ちば米!新米キャンペーン」展開
JAいすみが新米発表会開催。千葉米の美味しさをPR
- 52～53 **宮城** 7月水害の米への影響は軽微。今年も「ささ王」決定戦に期待
宮城県大崎市の令和4年産米の見通し
- 54～55 **岩手** 刈取適期の見極めについて指導を強化。産地イメージの発信へ
ホームページをリニューアル(4年産いわて純情米)
- 56～57 **青森** 令和4年産販売計画は主食用米9万2200ト(JA全農あおもり)
「青天の霹靂」は1万0200ト。9月中旬から刈り取り始まる
- 58～59 **茨城** 令和4年産「ふくまる」の収穫が作業始まる(ひたちなか市)
茨城県の水稲作柄概況は「やや良」(8月15日現在)
- 68～73 **JA全農**／
全国43銘柄の「食味マップ」を作成。相性の良い料理もツイッターで紹介



※月刊「食糧ジャーナル」のご送付に使用いたしましたご購入者の皆様の個人情報は、ご送付以外の目的では使用いたしません。
今月の表紙／コスモス